

令和7年度 後期 学校評価

鬼北町立日吉小学校

【評価基準】 A:80%以上達成 B:70%以上達成 C:60%以上達成 D:60%未満

重点目標	評価指標				評価	評価	○考察 及び ●改善方法
確かな学力	1	①しっかり考え、伝え合う授業を実践している。	教師	しっかり考え、伝え合う授業を実践している。	B	A	○授業だけでなく、集会活動や給食のスピーチ等で、自分の考えを発信させるだけでなく、質問をさせたり、感想を述べあったりすることで、深まりのある対話活動ができつつある。 ○感想発表では、安易な感想の発表にならないよう、詳しく話すためのポイントを指導している。 ●互いの発表に対して、質問や感想を言い合う活動を多く取り入れることで、「言葉のキャッチボール」ができるようにする。 ●相手を意識した発表の仕方が定着するよう指導にあたる。 ●問われていることを明確にし、しっかり考える学習習慣が身に付くような学習展開の工夫に努める。
			保護者	子供の学級では、しっかり考え、伝え合う授業を行っている。	A		
			児童	学校で、しっかり考え、話し合い活動に進んで参加している。	A		
	2	②基礎・基本が確実に定着し、家庭学習の習慣が身に付いている。	教師	基礎・基本が確実に定着し、家庭学習の習慣が身に付いている。	A↑	A↑	○家庭学習を行う習慣は、ほとんど身に付いてきている。個に応じた学習が充実できるよう、内容の検討が必要な部分がある。 ○授業時数の確保だけでなく、授業の改善を行いながら、基礎・基本の定着を図っていく。 ●自主学習ノートを見合う活動を続けたことで、内容が充実してきているので、今後も継続する。 ●ICTの活用も取り入れながら、個に応じた学習ができるよう工夫し、基礎・基本の定着が図られるようにする。 ●家庭と連携を図りながら、粘り強く学習習慣の定着を図る。
			保護者	子供は、基礎・基本が定着し、家庭学習の習慣が身に付いている。	A		
			児童	家庭学習がきちんとできている。	A		
	3	③読書に親しんでいる。	教師	1週間に1度は図書室に行き、図書の貸し出しを利用し、みきゃん通帳に記入している。	B↓	B	○教師、保護者の評価が下がっている。 ○教師の呼び掛けにより、図書館の利用回数は上がってきていると感じるが、本の内容や、感想の記入にはまだ課題がある。 ●週末の宿題に読書を取り入れ、余暇に読書を楽しむ習慣が身に付くようにする。また、みきゃん通帳やファミリー読書の取組を生かして、家族ぐるみで読書に親しむ場を設定していく。 ●様々なジャンルの図書を紹介したり、ランキング上位の本を配架したりすることで、幅広い読書活動へと発展させていく。
			保護者	子供は、図書室の利用を行い、家庭でも読書を行っている。	B↓		
			児童	1週間に1度は図書室に行き、図書の貸し出しを利用し、みきゃん通帳に記入している。	A↑		
評価委員会 学校関係者意見	・少人数のクラス内で、話し合いの授業を大切にされている。今後も、個々がしっかりと考えを発言できる環境づくりに努めてほしい。 ・基礎・基本の定着、家庭学習習慣の定着が図られるような手立てが講じられていて成果が上がっている。継続して行ってほしい。 ・自主学習ノートを見せ合う活動が、お互いに刺激を受けてやる気アップにつながるという。 ・身近に本に親しめる環境が減ってきており、評価も下がってきている。学校図書の充実を行いながら、本に親しめる環境を整えてほしい。				学校の対応	・伝え合いや話し合いを大切にした授業づくりが成果を上げつつある。今後も、様々な場面で自分の考えを発信できるようにさせ、表現力の向上に努める。 ・家庭学習、自主学習の充実に努め、個に応じた指導を継続することで、基礎・基本の定着が図られるようにする。 ・本を身近に感じられるような取組を実施することで、児童が自ら進んで読書に向かえるような取組を継続していく。	

重点目標	評価指標				評価	評価	○考察 及び ●改善方法
豊かな心	4	④地域の人々との交流活動や自然体験を取り入れた学習を実践している。	教師	地域の人々との交流活動や自然体験を取り入れた学習を実践している。	A	A	○郷土学や総合的な学習の時間等を通して、充実した学習を行うことができている。地域の方々の協力的な姿勢が非常にありがたい。 ●郷土学アンケートでは、日吉が好きで、地域の先生に様々なことを教わりたいという思いを持っている児童が多いことが分かっている。郷土に誇りを持ち、心豊かに育っていけるよう、発達段階に応じた計画を立て実践していく。 ●日吉の豊かな「人・もの・こと」を有効活用し、内容の充実を図る。
			保護者	学校は、地域の人々との交流活動や自然体験を取り入れた教育活動を実践している。	A		
			児童	日吉の人たちといっしょに勉強したり、日吉について調べたりした。	A		
	5	⑤進んで挨拶や返事ができる。	教師	進んで挨拶や返事ができている。	B↑	A	○個人差はあるが、元気で気持ちの良い挨拶ができるようになってきている。お互い目を合わせ、心のこもった挨拶が、いつでも、どこでもできるようにさせたい。 ●「いつでも・どこでも・だれにでも」を合言葉に、元気で気持ちの良い挨拶ができるよう、根気強く声掛けを行う。また、教師自身が手本となれるような挨拶の姿を、児童に見せていく。 ●挨拶の良い児童を賞賛しながら、あるべき姿をイメージさせる。
			保護者	子供は、進んで明るい挨拶や返事ができている。	A		
			児童	進んで明るい挨拶や返事ができている。	A		
	6	⑥きずな班活動を通して、仲間づくりに努めている。	教師	きずな班活動を通して、仲間づくりに努めている。	A↑	A	○活動の意義や、最高学年としての役割を自覚させることで、取り組み方にも良い変化が表れてきている。また、様々な活動を通して、お互いを思いやる気持ちも育ってきている。 ●朝の会や終わりの会を活用し、お互いのことを知ったり認め合ったりする活動をさせることで、仲間づくりを進めていく。 ●全校給食のスピーチでは、互いを理解しあう活動につながっている。さらに積極的な関わりができるように声掛けを行う。 ●きずな班を利用した活動を取り入れることで、他者を思いやる気持ちを育てていく。
			保護者	子供は、学級やきずな班の活動を通して、仲良く活動している。	A		
			児童	友達の気持ちを考え、認め合い、協力し合って、楽しい学校生活が送れている。	A		
評価委員 学校関係者 意見	・子供たちは地域の人々との交流活動や自然体験学習に意欲的に参加している。計画・実践は大変だと思うが継続してほしい。 ・郷土学の学習を通して、ふるさとへの愛着が深まっている様子が、郷土学発表会で十分に伝わってきた。日吉を知り、誇りを持ち、将来日吉を大切に思ってくれる児童が育ってくれればと信じる。 ・先生方や、地域の方々の地道な活動に感謝している。 ・自分から心のこもった挨拶ができる児童が育つよう、継続して指導をお願いしたい。				学校の対応	・これまで築いてきた地域とのつながりを大切にしながら、交流活動や自然体験学習を充実させる。 ・学習素材の発掘にも力を入れながら、さらに「ふるさと日吉」を愛着を持てるような取組を実践する。また、学習したことを積極的に発信することで、誇りを持たせるようにする。 ・児童の元気な挨拶が、地域を元気付けているという実感を得ることができた。今後も、「いつでも、どこでも、誰にでも」を合言葉に、積極的なコミュニケーションができる児童を育成する。	

重点目標	評価指標				評価	評価	○考察 及び ●改善方法
健やかな体	7	⑦「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化が図られている。	教師	「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化が図られている。	B	A	○「おはようチェック」を通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の意識付けができ、生活習慣に改善が見られている。3学期も継続して実施し、家庭への啓発にも力を入れていく。 ●「おはようチェック」からの健康課題を個別指導につなげたり、保健の授業や委員会活動で取り上げたりする。また、家庭への啓発を行うことで、生活習慣の改善を目指す。 ●給食の時間を活用しながら、朝ごはんの大切さについて伝えていく。家庭には、給食だよりを活用し啓発を行う。配慮を要する児童には、聞き取りを行いながら、具体的なアドバイスができるようにする。
			保護者	子供は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。	A		
			保護者	家庭で、子供が「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付くように取り組んだ。	A		
			児童	「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。	A↑		
	8	⑧楽しく運動を続けている。	教師	体育の時間や昼休みなど、自分から進んで体を動かそうとしている。	B↓	B↓	○児童会の全校遊び、学級遊びの時間等で、休み時間や昼休みに活発に活動する姿が見られた。自分から、という点での評価は難しいが、友達同士で誘い合って体を動かす姿もあった。 ●教師も一緒になって身体を動かすよう努めたい。 ●体育の授業だけでなく、モーニングタイムの体力の時間を活用しながら、全校児童が楽しみながら運動に親しもうとする取組を行う。 ●天気の良い日は、外でしっかり体を動かす習慣が身に付くよう声掛けを行う。
			保護者	子供は、家庭でも継続的に体を動かす取組を行っている。	B		
			児童	体育の時間や昼休みなど、自分から進んで体を動かそうとしている。	A		
	9	⑨元気で学校に通学し、明るく学校生活を送っている。	教師	元気で学校に通学し、明るく学校生活送っている。	A	A	○欠席児童も少なく、感染症の流行もなかった。日頃の保健指導や生徒指導の成果だと感じる。 ○児童一人一人としっかり向き合いながら、問題の早期発見・早期解決に努める。また、教職員全員で全校児童を見守る。 ●核となる学級経営を基盤とし、認め合いや支え合いのあふれる学校づくりを行う。 ●子供たち一人一人との会話を大切にし、「学校が楽しい。」と思える学級・学校経営を目指す。
			保護者	子供は元気に学校に登校し、明るく学校生活を送っている。	A		
			児童	元気で学校に登校し、明るく生活している。	A		
評価委員会 学校関係者意見	・「おはようチェック」を通して、健全な生活や発達がとげれるよう、引き続き指導をしてほしい。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化は、家庭との連携なしには成し得ることはできない。保護者への働き掛けを継続して行ってほしい。 ・他校の取組などを参考にしながら、生活習慣の定着を図ってほしい。 ・家庭の実情によって食生活や生活習慣の乱れが起こっていることも考えられる。「朝食を食べさせる」「早く寝させる」などの大切さを、親に認識してもらえよう頑張てほしい。				学校の対応	・毎日行っている「おはようチェック」を児童への指導や、保護者への啓発に役立て、基本的な生活習慣の定着の必要性を理解させていく。 ・運動を通した身体づくりには、継続した取組が必須である。児童が進んで運動したくなるような仕掛けを行い実践していく。 ・様々な活動を行う中で、思いやりの心が育ってきていると感じる。子供たち一人一人が、学級・学校の一員として所属感を得られるように、個を大切にす指導を行う。	

重点目標	評価指標				評価	評価	○考察 及び ●改善方法
学校・家庭・地域の連携	10	⑩ ホームページ、学級通信・学校だより等で学級の取組を発信している。	教師	ホームページ、学級通信・学校だより等で、学校の取組を発信している。	B	A	○ホームページや学校だよりについては、随時発信することができた。学級通信については差があるので、積極的に発信できるように努める。 ●定期的に学級通信の発行に努め、学校での児童の様子や、様々な取組を紹介し、保護者の理解・協力を得る。 ●給食での取組が伝わるよう、積極的な発信と内容の充実を図る。
			保護者	学校は、ホームページや学級通信・学校だより等で、子供の様子や学校の取組を発信している。	A		
	11	⑪ 人・こと・ものとのかわりを通して、開かれた学校づくりに取り組んでいる。	教師	人・こと・ものとのかわりを通して、開かれた学校づくりに取り組んでいる。	A	A	○郷土学や総合的な学習の時間を中心に、日吉地域の豊かな「人・こと・もの」と積極的に関わり、開かれた学校づくりに向けた取組ができている。 ○保護者にも参加を呼び掛けた。子供と一緒に活動（学び）できる機会を増やしていきたい。 ●今後も公民館活動や地域行事に積極的に参加しながら信頼関係を築いていく。
			保護者	学校は、学校行事やPTA活動を適切に設定し、開かれた学校づくりに取り組んでいる。	A		
	12	⑫ 保護者・地域住民・教職員と連携して教育活動を行っている。	教師	保護者や地域住民と連携して教育環境の整備・充実を図っている。	A	A	○奉仕作業や古紙回収など、保護者・地域の方に協力していただいている。 ○学校運営協議会や保護者の方からの要望や課題を一緒に考えながら、連携を深めたい。 ●参観日や学校行事など、保護者だけでなく多くの方々に参加していただけるよう、広報活動を積極的に行う。
			保護者	学校は、保護者・地域住民・中学校と連携して教育活動を行っている。	A		
評価委員会 学校関係者意見	・ 公民館や地域行事の活動に、子供たちが意欲的に参加している。地域との連携も良い。 ・ 日吉地域の「人・もの・こと」と関わることは、子供たちにとって貴重な体験から学び取ることが非常に多いと感じる。 ・ 学校、家庭、地域が身近な存在であると感じ、安心感がある。 ・ 武左衛門太鼓の継続については、継続可能な様々な方法を考え進めてほしい。 ・ 各種通信では、学校や担任からの一方的な発信だけでなく、保護者の意見コーナーを設けるなど、双方向の発信ができると良い。お互いにいろいろな一面が見られて楽しい通信になると思う。				学校の対応	・ 学級や学校の情報発信については、回数だけでなく、内容を見直しながら発信し、保護者や地域の方の意見が取り入れられるよう工夫する。 ・ これまで続いてきた伝統や文化の意義を再確認し、少人数の中でも継続していける方法を地域ボランティアと連携しながら考えていく。 ・ 学校、家庭、地域とのつながりをさらに密にできるよう、積極的な関りを行っていく。	